働きながら学ぶ。学びながら働く。

求職者人材育成プログラム
「日本版デュアルシステム」
参加のご案内

実施予定

- **2022 年 8 月 1 日～2022 年 8 月 26 日（実施日数 18 日間）**

●デュアルシステムとは？

求職者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と教育機関での職業訓練を組み合わせて実施することにより若者を**一人前の職業人に育てる仕組み**のことを言います。

このデュアルシステムを参考に、厚生労働省・文部科学省等複数の省庁が連携して平成 16 年 4 月よりスタートさせたのが**「日本版デュアルシステム」**です。

●日本版デュアルシステム導入の背景

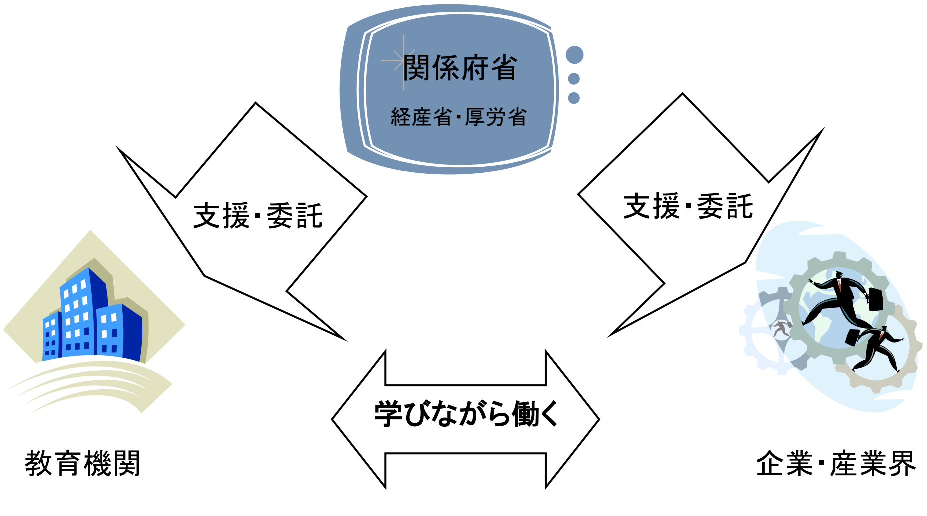
➢ 背景

昨今、求職者の雇用において、高い失業率、無業者・フリーターの増加、高い離職率等、さまざまな問題が指摘されています。これは、求職者本人のキャリア形成の支障になるだけでなく、社会の技術・技能の蓄積にも支障をきたし、中長期的な産業活力の低下を招くおそれがあると言われています。

– 企業が求める能力の高度化、即戦力指向の高まり
– 新規学卒求人（特に高卒求人）の減少

➢ 目的

– 求職者が学校卒業後、本格的雇用に至らない場合でも、一定期間、企業での実習及びそれと一体となった教育訓練を受けることにより、一人前の職業人として育て、職場定着させる。
– 新卒未就職者のフリーター化、無業化について、事後的に対応するのではなく、これらをあらかじめ防止する仕組みを作り上げる。



企業の皆様へ　～ 訓練生のお受け入れについて

●日本版デュアルシステム導入のメリット

- 就職意欲を持った人材を比較的容易に確保し、企業が求める即戦力を確保することができます。
- 厚生労働省より訓練委託費が支払われます。
- 実習の評価として評価シートの交付により評価手数料が支払われます。
- 有期パート等の形態により訓練を実施しつつ、能力、適性を見極め正規雇用につなげられます。
  - 期間中の賃金支払い義務はありません。
  - 「訓練生受入れ＝正式採用」ではありません。
- 教育訓練機関で体系的な知識や技能を習得させることにより、企業の訓練コストを下げることができます。
- 繁閑にあわせた要員計画に沿って訓練生を受け入れることにより、訓練を実施しつつフレッシュな人材を貴重な労働力として活用することができます。
- 訓練生を指導する立場の従業員の育成につながります。

- 熊本県立熊本高等技術専門校より事前指導

- ITスキルを中心とした職業訓練
- キャリア形成支援・能力評価
- ビジネスマナー

現場実習訓練にあたって

- 基本的には、訓練カレンダーに基づいてお受入れいただきます。
- 賃金、交通費当の一切の費用のご負担はありません。
- 実習中、訓練生は労災保険に加入しています。
- 実習中も訓練生は就職活動を行っておりますので、職業安定所や面接等に出向く場合はご配慮くださいますようお願いいたします。

＊＊＊お気軽にお問い合わせください＊＊＊

株式会社アトライズ
〒860-0058　熊本県熊本市西区田崎町 474-2　大同ビル 3F
TEL／FAX：096-355-5023　E-mail：atryz_net@ybb.ne.jp

＊＊＊当パンフレットは WEB からもご確認いただけます＊＊＊

https://atryz.jp/dual